

# 「世界の人びとを呼び込む観光協創プロジェクト」 第1回推進会議の概要について

三重県の新しい長期の戦略計画である「みえ県民カビジョン」に基づき、県民の皆さんの持つさまざまな力を結集して取り組む「新しい豊かさ協創プロジェクト」に、委員として参画いただく皆さんと知事との意見交換をおこなう全体会議を平成24年7月8日(日)に開催しました。

また、全体会議に引き続き、5つのプロジェクトの1つである「世界の人びとを呼び込む観光協創プロジェクト」の第1回推進会議もあわせて開催しました。

第1回推進会議には、7名の委員のうち6名の方々にご出席いただくとともに、会議の進行を補助するファシリテーターとして国立大学法人三重大学人文部教授の朝日幸代氏にご出席をいただきました。

なお、第1回推進会議の概要は、以下のとおりです。

## 「世界の人びとを呼び込む観光協創プロジェクト」委員及びファシリテーター

※敬称略、カッコ書は役職

<委員>

田上 至 (特定非営利活動法人ふるさと企画舎 理事長)

野口 あゆみ (特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター 事務局長)

李 相海 (鳥羽シーサイドホテル国際担当)

桂 三輝 (よしもと三重県住みます芸人)

※桂委員はご欠席

貫上 亨 (近畿日本鉄道株式会社 伊勢志摩事業推進部 課長)

清水 清嗣 (鳥羽商工会議所 専務理事)

稲垣 八尺 (伊賀上野観光協会 専務理事)

<ファシリテーター>

朝日 幸代 (国立大学法人三重大学 人文学部 教授)

## <推進会議の進行概要>

会議の進行概要は以下のとおり

開会 14:30

- ・観光・国際局長あいさつ
- ・県事業の説明

プロジェクト推進に向けた意見交換

- ・各委員の取組紹介
- ・実践取組に関して次回議論するテーマ、課題等について

など

閉会 16:20

(観光・国際局長あいさつ、県事業の説明)

冒頭、推進会議のスタートにあって、加藤敦央 観光・国際局長から委員の皆さんへのご挨拶とともに、「世界の人びとを呼び込む観光協創プロジェクト」がめざす姿や3つの取組方向について説明しました。

※プロジェクトで挑戦する3つの実践取組

①国内誘客

「さまざまな主体との連携による観光PR・誘客」

②海外誘客

「海外での認知度アップによる来訪者の増加」

③観光の基盤づくり

「来訪を促進する観光の基盤づくり」



## （プロジェクト推進に向けた意見交換）

続いて、朝日教授の司会によりプロジェクトの推進に向けた意見交換を行いました。

各委員からは、それぞれが取り組まれている活動や成果、活動の中で感じる課題について意見がだされました。

### 委員からの主な意見

三重県には光るモノがたくさんあるが、特に海外においてはまだまだ三重県の知名度は低い。求められているニーズを的確に把握し、それに対応できる仕組みをつくらないと集客にはつながらない。

パーソナルバリアフリー基準によって、個別のニーズに合った旅行案内を行っているが、実際に観光客に接するのは、地域の人たちや観光関係者になるので、おもてなしのレベルアップを図ることが、魅力につながる。

国際担当として、インバウンドに関わっているが、まだまだ割合としては低い。インバウンドの課題はいろいろあるが、情報発信が武器になる。

三重県には、自然、食、温泉など誇れるものがたくさんあるが、日本全国に伝えていく絶好の機会が、遷宮である。注目度があがっている中で、観光客を伊勢神宮だけで帰らせない、また実際にここまで来ない人に対するの伝え方（PR）に工夫が必要である。

経済団体としては、旅を動かす層へ直接働きかけていくことが重要と考えている。観光産業をローカル企業体としてどう育てるかが重要である。

Facebookなどを活用してコアなファンを増やしていくことも重要である。



## （今後検討すべきテーマについて）

最後に次回会議について、今後検討すべき内容、県の施策の方向性に対する意見などについてご意見をいただきました。

### 委員からの主な意見

観光産業は、中小企業が多く、まだまだ産業として確立していない。産業の質をあげるためにどうしたらよいか、を観光の基盤づくりに反映できるようにしてはどうか。三重県は南北に長いこともあり、多様な魅力がある反面、まとまりがない。観光地をネットワークとしてつなげていく仕掛けが必要ではないか。

情報の発信について、地域だけの情報発信は限界がある。「三重県」としての魅力を1つにまとめて発信する必要があるのではないか。

前回の遷宮では、観光客は増えたが、その分余裕がなくなるため、十分なおもてなしができず、評判を下げてしまった部分もある。その反省を生かして、観光客の満足度を上げるために観光従事者への教育などをきちんと行う必要がある。

### 次回（第2回）の開催予定

次回（第2回）推進会議は、平成25年度当初予算編成に推進会議からの意見・提案が反映できるよう、9月頃に公開で開催する予定です。